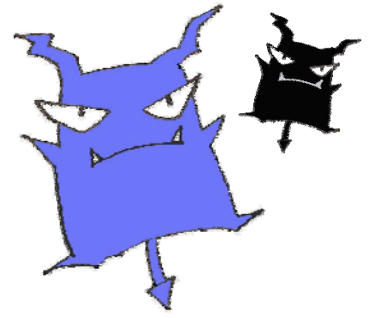


平成19年9月

# 京都市こどもの感染症

かんせんしょう



## ★☆ これから流行りそうなものは…

＜ 去年の今頃(9月)の順位 ＞

順位	病気の名前	特徴、予防法など
1位	かんせんせいりょうえん 感染性胃腸炎	発熱、下痢、嘔吐などが症状。ノロウイルスが有名ですが、その他の色々なウイルスや細菌も原因となり、何回もかかってしまうことがあります。予防のため、手洗いや食品の十分な加熱などを心がけましょう。
2位	てあしくちびょう 手足口病	夏かぜの一種で、手や足、口の中に水疱（すいほう）ができることが特徴。熱は微熱程度の場合が多く、対症療法が基本です。基本的には自然治癒する予後良好な疾患ですが、合併症もありますので気をつけてください。 幼児に多く、色々なウイルスが原因となって、何回もかかってしまうことがあります。口の中の水疱がつぶれて痛いときは、口あたりのよい食べ物で栄養補給しましょう。
3位	みず 水ぼうそう (すいとう 水痘)	水痘ウイルスが原因で、全身に発しんができます。水痘の場合、抗ウイルス薬がありますので、初期のうちに服用することで症状の軽減が期待できますが、伝染力が強く、肺炎・脳炎・髄膜炎などを併発する可能性もあります。予防接種は任意ですが、集団生活をする場合は、受けておかれることをおすすめします。かかりつけの医療機関にご相談ください。 なお、集団へ感染がひろがるのを防止するために、学校保健法の出席停止期間は、すべての発しんが、かさぶたになるまでとなっています。

## ★☆ 注意する感染症！

### ●●● 手足口病（夏かぜの一種）

夏場に多い感染症であり、本年は7月以降やや多い程度ですが、年によって、発生が初冬まで続く場合もあり、流行の大きさも年ごとに異なっています。

幼児（1～5歳）に多くみられ、咳やくしゃみだけでなく、ウイルスの付いた手を介しても感染しますので、予防には、手洗い、うがいが欠かせません。

気になる症状があるときは、かかりつけの医療機関に相談しましょう～！

## ★ ポリオ(急性灰白髄炎)の定期接種のお知らせ

きゅうせい かいはいすいえん

ていき せっしゅ

し

京都市の各保健所では、4月と10月に無料でポリオの定期接種を行っています。

生後3月～90月（7歳6ヶ月）のお子様が発種対象年齢となっています。  
ポリオウイルスに対する免疫を得るには、必ず2回、接種を行うことが必要です。  
また、ポリオ生ワクチンは、腸の一部で吸収されることで、免疫を獲得するので、お子様が下痢などの場合は、症状が改善してから接種を受けてください。

接種日等の相談につきましては、最寄りの保健所にお問い合わせください。



発行/京都市保健福祉局  
地域医療課、衛生公害研究所  
(ホームページにも掲載しています。)